

問題2

医の倫理／看護の倫理 □□□

解法の要点

解説

なぜ？ どうして？
①巻 p.22

基本事項

看護師の倫理とその例の組み合わせとして正しいのはどれか。

1. 患者に利益をもたらす医療を提供する———公正と正義の原則
2. 患者が自己決定した内容を尊重し従う———自律尊重の原則
3. 患者の個人情報を守る———善行の原則
4. すべての人々に適切な配分で医療を提供する———誠実と忠誠の原則

I-4B

看護の倫理原則には、自律尊重の原則、善行の原則、無危害の原則、公正と正義の原則、誠実と忠誠の原則の5つがある。それぞれの内容を整理しておこう。(RB-基7)(RB-基7)

- ×1 患者に利益をもたらす医療を提供するのは、**善行の原則**に当てはまる。利益とは、医療者が考える患者にとっての利益ではなく、患者が考える最善の利益である。
- 2 患者が自己決定した内容を尊重し従うのは、**自律尊重の原則**に当てはまる。
- ×3 患者の個人情報を守ること（守秘義務）や約束を守るとは、**誠実と忠誠の原則**に当てはまる。
- ×4 全ての患者に対し、ニーズに従って公平かつ適切に医療を配分することは**公正と正義の原則**に当てはまる。看護師は自分が受け持つ患者に対し、状況に応じて適切な配分で医療が施されるように努めなければならない。

正解 2

▼ 看護の倫理原則

原則	概要	例
自律尊重	患者が自己決定するために必要な情報を提供し、そのうえで患者が決定した内容を尊重し、従うこと。	医療者から十分な説明をきき、納得したうえで、寿命が短くなっても喉頭を切除せずに自分の声で話すことを選んだ患者の意思を、自律尊重の原則に基づき尊重し従う。
善行	患者の考える最善の利益を得られるために努めること。	転倒のリスクのある患者に対し、危害を回避するため、患者の同意のもと善行の原則に基づいて、ベッドサイドでのポータブルトイレの使用を促す。
無危害	患者に危害を加えないこと。また、患者に身体的・精神的・社会的な危害が生じるリスクを回避すること。	術後せん妄のある患者がトイレでの排泄にこだわりがある場合、無危害の原則に基づき、患者・家族の同意を得て、転倒予防のために夜間のみ離床センサーを使用し、トイレ歩行に付き添う。
公正と正義	全ての患者に対し、患者のニーズに従って、適正かつ公平なヘルスケア資源の配分を行うこと。	災害発生時は、公正と正義の原則に基づき、負傷者の状況に応じて優先順位を考え、適切な配分で医療・看護を提供する。
誠実と忠誠	誠実の原則 ：患者に対し正直であること。 忠誠の原則 ：患者と看護師の間の信頼関係に内在する義務に対して誠実であること。	誠実の原則に基づき、治療のメリットとデメリットを正直に患者に説明する。 患者から「誰にも言わないでほしい」と言われた内容は、忠誠の原則に基づき、治療や看護ケアの目的以外に他の人に漏らさない。